

福

(米常商事 安田 甫社長)

私の好きな一文字

先物協会ニュース

JCFIAマンスリー

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES
INDUSTRY ASSOCIATION

発行所 日本商品先物振興協会
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町9-9
☎(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733
http://www.jcfia.gr.jp/

FUTURES PLAZA

私が商品先物取引の業界に本格的に関わるようになったのは、大学院生だったころ、昔の全協連の研究會(関東部會)に参加するよう、恩師の堀口巨一橋大学名誉教授からお声をかけて頂いたのがきっかけでした。

この研究會には、堀口教授の他に、酒巻教授、吉井教授、倉沢教授、加美教授といった商法界で中心的に活躍されている

入江教授が参加されている。野で最も関係があると考へられた商法分野に声をかけて頂いたと思ひますが、その後、日商協の酒巻会長をはじめ、この研究會の多くの方々が活躍されています。

ただ、若干、懸念されることは、当時、若手といわれた私たちの世代も五十歳台になりつつありますが、その後の世代で、商品先物業界に関心を持ってくれていない研究者があまりいないことと、先物協会には研究助成制度も設けられており、成果も見られますが、私たちは上の世代の先生方から直接に指導を受け、それが大いに役立つと思ひます。次の世代で将来業界を支えていく研究者を育ててほしいと思ひます。

プロフィール
1952年 静岡県生まれ
1975年 一橋大学法学部卒業
1982年 一橋大学法学研究科博士課程修了
同 年 青山学院大学法学部専任講師
同 年 青山学院大学法学部専任講師
現 在 青山学院大学法学部専任講師
商品取引受託基金
債権補償

青山学院大学

法学部教授 土橋 正



たずねたる先生方と、上村教授、尾崎教授、河内教授といった当時では比較的若手の商法研究者、さらには、商学関係から小山教授や故専門家がおります、法律の分野

育てよう

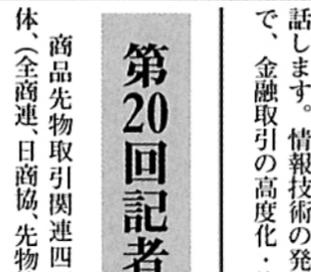
業界支える研究者



東京・麹町、ロイヤルパークホテルで

第20回記者懇親會
商品先物取引関連四団体(全商連、日商協、先物協会、補償基金協会)が共催する第20回記者懇親會が十二月四日、東京・日本橋麹町町のロイヤルパークホテルで開かれた。

一般紙、業界紙誌合わせて三十九社、約九十人の記者が出席、四団体の関係者約七十人と賑やかに懇談した。冒頭、四団体会長が挨拶し、「当面する難題に果敢に取り組みたい」とことを強調した。



東京・麹町、ロイヤルパークホテルで

第20回記者懇親會を開催
商品先物取引関連四団体(全商連、日商協、先物協会、補償基金協会)が共催する第20回記者懇親會が十二月四日、東京・日本橋麹町町のロイヤルパークホテルで開かれた。

「先物」の時代到来を願いたいものだ。(泉)

一橋大学シンポジウム

「新世紀の先物市場」を討議

5年間の寄附講座を記念



「新世紀の先物市場」
一橋大学寄附講座シンポジウム
池尾慶大教授が基調講演

一橋大学は平成十三年十一月三十日、東京・一ツ橋の如本会館でシンポジウム「新世紀の先物市場」を開催した。商品先物業界の寄附で開設していた講座「先物市場論」を終了するに当たっての記念シンポジウムで、池尾和入慶應義塾大学経済学部教授の基調講演「デフレ・インフレと商品先物」の後、「商品先物市場のイノベーション」と題したパネルディスカッションを行った。当日は約四百五十人が熱心に聴講していた。(パネルディスカッションは3面)



アフガン難民に義援金
東織協会、パキスタンに
東織協会は十二月十日、ためバキスタンに二千万円のアフガニスタン難民救済の義援金を寄付した。

パキスタン大使館を訪れ、トキール・ラセイン大使に義援金を直接、手渡した。席上、下山代表世話人が、「東工取の義援金は平成十二年八月末に上場廃止になりましたが、長い間、綿花、綿糸の供給国、需要国として両国は友好関係にありました。今回の難事に際し、少しでもお役に立ちたい」との趣旨を伝えた。

日経新聞が報道
日本経済新聞は翌十一日の朝刊で次の通り報じた。綿糸関連の商品先物取引會社が加盟する東織協会は十日、アフガニスタン難民を支援するため、難民が多く流入しているパキスタン政府に義援金一千万円を贈った。

先ごろ、作家の幸田真音さんが日本経済新聞のコラム「私の貯金箱」で熟っぽく語っていた。「今もディーリングルームに入ると、血が騒ぐというか、相場は好きですね。距離を置いて冷静に見ているので、かえって予想が当たるんですよ」。

池尾慶大教授が基調講演
日本経済は今、デフレ・スパイラルによる景気悪化が懸念されていますが、デフレの持続は近々に財政破綻をもたらす、その後は高率のインフレに突入する可能性があります。

平準化機能持つ市場を
意図的にマイルドなインフレをつくり出すインフレ・ターゲット論が提言されています。だが、それがうまくいけば、景気循環による不都合を解消(ヘッジ)できるからです。充実した平準化機能を持つ先物市場を

市場参加者の構成から見て、わが国の商品先物市場は、国民経済的役割をあまり果たしていないと言わざるを得ません。

個人は商品ファンドなどを通じて商品先物市場に間接的に参加し、商品先物市場自体は、実需家、商社、機関投資家といった参加者中心の構成に転換しなければならぬと見られます。

「先物」の時代到来を願いたいものだ。(泉)